学習の指針 (シラバス)

教科名	理	科	実施学年	3年	週時数	4時間
1 学習の	目標等					
学	習の目標	12.7	(2) 継続的な(3) 観察や実 、概念を(4) 発表やレ 、図、グ(5) 実験器具 を正確に	を使って考えを進れ ポートなどで、自 ラフを使い、論理 を正しく使い、実)要素が関わ められる。 分の考えや の展開を工 験観察の記	のる関係を見つけ、法則、モデル の気づいたことを、根拠、具体例 まして、効果的に表現できる。 は録(文章、スケッチ、表、グラフ)
使用教和	斗書・副都	教材等	大日本図書	理科の世界3(教	科書)、理科	中の学習3(明治図書)

2 (1)学習計画及び評価方法等〈6月1日現在〉

 第 単元1 運動とエネルギー 1章 力のはたらき カのつり合い・合成・分解での力の 関係を実験と作図から発見する。 ・記録タイマーを使っていくつかの運動 について調べる。 ・速さ、質量とエネルギーのように3 つの要素が関わる現象を調べる。 ・太陽の観測(夏至) ・エネルギーの概念を身に付けエネルギー概念でジェットコースターなどの 現象を考える。 ・自分で課題を設定し研究する。 (授業の進度による) 9 単元2 生物の成長とふえ方 2 章道伝の規則性と遺伝子 終章証子技能にいて調べまう ・生物が成長することと細胞との関係に ついて観察を通し学ぶ。 生物の成長とふえ方 2 章道伝の規則性を学ぶ。 ・造伝の規則性を学ぶ。 ・進伝の規則性を学ぶ。 ・進伝の規則性を学ぶ。 ・進伝の規則性を学ぶ。 ・進伝の規則性を学ぶ。 ・変伝の規則性を学ぶ。 ・変につける。 ・変につける。 ・変につける。 ・変にの規則性を学ぶ。 ・変にの対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	2 (首計画及い評価方法等		/++ -*	⇒∓: <i> </i>
第 1 1 2 1 2 3 3 3 2 3 3 2 3 3 3 3 4 4 4 3 3 3 3 3		月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
1 章 力のはたらき ・力のつり合い・合成・分解での力の関係を実験と作図から発見する。・記録タイマーを使っていくつかの運動について調べる。・記録タイマーを使っていくつかの運動について調べる。・速さ、質量とエネルギーのように3つの要素が関わる現象を調べる。・太陽の観測(夏至)・エネルギーの概念を身に付けエネルギー概念でジェットコースターなどの現象を考える。・自分で課題を設定し研究する。(授業の進度による)単元2生命の連続性1章生物の成長とふえ方2章遺伝の規則性と遺伝子終章施計機について観察を通し学ぶ。・生物が成長することと細胞との関係について観察を通し学ぶ。・生物のふえ方を細胞で考える。・遺伝の規則性を学ぶ。・連伝の規則性を学ぶ。・進伝の規則性を学ぶ。・準続観額(秋分)・生物どうしのつながりを考え、生物界全体をひとまとまりとして見る視点を身につける。・生物質 自由研究発表内容 2 10 単元3自然界のつり合い1章生物同士のつながりを考え、生物界全体をひとまとまりとして見る視点を身につける。・生物でしていて観察を通し学ぶ。・生物のふえ方を細胞で考える。・遺伝の規則性を学ぶ。・進伝の規則性を学ぶ。・連伝の規則性を学ぶ。・連続観察を体をひとまとまりとして見る視点を身につける。・原子とイオンの構造を学ぶ。・原子とイオンの構造を学ぶ。を期テスト		6 単元1				ワークシートの評
学 期 2章 物体の運動	第		運動とエネルギー	・力の表し方を知る。	作図・考	価は年間を
# 2章 物体の運動 ・記録タイマーを使っていくつかの運動 について調べる。 ・速さ、質量とエネルギーのように3 つの要素が関わる現象を調べる。 ・太陽の観測(夏至) ・エネルギーの概念を身に付けエネルギー概念でジェットコースターなどの 現象を考える。 ・自分で課題を設定し研究する。 ・自分で課題を設定し研究する。 ・自分で課題を設定し研究する。 ・自分で課題を設定し研究する。 ・自分で課題を設定し研究する。 ・自分で課題を設定し研究する。 ・連歩の成長とふえ方 2章遣伝の規則性と遺伝子 と生物が成長することと細胞との関係に ついて観察を通し学ぶ。 ・生物のふえ方を細胞で考える。 ・連伝の規則性を学ぶ。 ・連伝の規則性を学ぶ。 ・連伝の規則性を学ぶ。 ・連伝の規則性を学ぶ。 ・連伝の規則性を学ぶ。 ・連伝の規則性を学ぶ。 ・海の観測(秋分) ・生物どうしのつながりを考え、生物界 全体をひとまとまりとして見る視点を身につける。 ・信が流れるかを確認する。 ・実験・考 定期テスト	1		1章 力のはたらき	・力のつり合い・合成・分解での力の	察	通して常時
(こついて調べる。	学			関係を実験と作図から発見する。		行います
7 3章 仕事とエネルギー ・速さ、質量とエネルギーのように3 一次の要素が関わる現象を調べる。 上級の観測(夏至) ・エネルギーの概念を身に付けエネルギ 一概念でジェットコースターなどの現象を考える。 自分で課題を設定し研究する。 自由研究 (授業の進度による) 単元2 生物の成長とふえ方 2章遺伝の規則性と遺伝子 終章連伝子技術について観察を通し学ぶ。 生物の成長とふえ方 2章遺伝の規則性と遺伝子 終章連伝子技術について観察を通し学ぶ。 生物のふえ方を細胞で考える。 遺伝の規則性を学ぶ。 造伝の規則性を学ぶ。 造伝の規則性を学ぶ。 連元3 自然界のつり合い 1章生物同土のつながり 2章自然界を循環する物質 10 単元4 化学変化とイオン ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 実験・考察定期テスト につける。 実験・考察定期テスト に関するととイオンの構造を学ぶ。 実験・考察に関する。 に関するとイオンの構造を学ぶ。 に対して見る視点を身に関する。 実験・考察に関するとは、 に関するとは、 に関する に関するとは、 に関する に関する に関する に関する に関する に関する に関する に関する	期		2章 物体の運動	・記録タイマーを使っていくつかの運動	作図・考	
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				について調べる。	察	
8 ・太陽の観測(夏至) 作図・考察 8 自由研究 (授業の進度による) 現象を考える。 ・自分で課題を設定し研究する。 自由研究 発表内容 (授業の進度による) 単元2 生命の連続性 1章 生物の成長とふえ方 2章遺伝の規則性と遺伝子終章遺伝子技術につれて観察を通し学ぶ。 ・生物が成長することと細胞との関係について観察を通し学ぶ。 ・生物のふえ方を細胞で考える。 2 ・遺伝の規則性を学ぶ。 継続観察 2 ・太陽の観測(秋分) ・生物どうしのつながりを考え、生物界全体をひとまとまりとして見る視点を身につける。 考察 10 単元 3 自然界のつり合い 1章生物同士のつながり 2章自然界を循環する物質 ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 実験・考察 実験・考察 10 単元 4 化学変化とイオン ・原子とイオンの構造を学ぶ。 実験・考定期テスト		7	3章 仕事とエネルギー	・速さ、質量とエネルギーのように3		
8 ・エネルギーの概念を身に付けエネルギー機念でジェットコースターなどの現象を考える。 察 8 自由研究(授業の進度による) ・自分で課題を設定し研究する。 自由研究発表内容 9 単元 2 生命の連続性 1章 生物の成長とふえ方 2 章遺伝の規則性と遺伝子終章遺伝子技術について観察を通し学ぶ。 ・生物が成長することと細胞との関係について観察を通し学ぶ。 ・進伝の規則性を学ぶ。 2 ・進伝の規則性を学ぶ。 継続観察・大陽の観測(秋分) 2 ・本陽の観測(秋分) ・生物どうしのつながりを考え、生物界全体をひとまとまりとして見る視点を身につける。 考察 10 単元 3 自然界を循環する物質 ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。実験・考察・定期テスト 10 単元 4 化学変化とイオン ・原子とイオンの構造を学ぶ。 定期テスト				つの要素が関わる現象を調べる。	継続観察	
8				・太陽の観測(夏至)	作図・考	定期テスト
現象を考える。			終章 ジェットコースター	・エネルギーの概念を身に付けエネルギ	察	
8 自由研究 (授業の進度による) 1 1 2 2 2 2 2 2 4 4 4 2 2		8		ー概念でジェットコースターなどの		
(授業の進度による) 単元 2 ・細胞の観察をし、観察力をつける。 ・生物が成長することと細胞との関係に ついて観察を通し学ぶ。 ・生物の成長とふえ方 2 章遺伝の規則性と遺伝子 終章遺伝子技術について調べよう ・遺伝の規則性を学ぶ。 ・遺伝の規則性を学ぶ。 ・ 遺伝の規則性を学ぶ。 ・ 支陽の観測 (秋分) ・ 生物どうしのつながりを考え、生物界 全体をひとまとまりとして見る視点を身につける。 1 章生物同士のつながり 2 章自然界を循環する物質 10 単元 4 ・ 色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 実験・考 察 定期テスト				現象を考える 。		
9 単元 2 生命の連続性 1章 生物の成長とふえ方 2章遺伝の規則性と遺伝子 終章遺伝子技術について調べよう ・ 生物のふえ方を細胞で考える。 ・ 遺伝の規則性を学ぶ。 ・生物が成長することと細胞との関係に ついて観察を通し学ぶ。 ・ 遺伝の規則性を学ぶ。 2 ・ 生物のふえ方を細胞で考える。 ・ 遺伝の規則性を学ぶ。 2 ・ 太陽の観測(秋分) 9 単元 3 自然界のつり合い 1章生物同士のつながり 2章自然界を循環する物質 ・ 生物どうしのつながりを考え、生物界 全体をひとまとまりとして見る視点を身につける。 10 単元 4 化学変化とイオン ・ 色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 ・ 原子とイオンの構造を学ぶ。 実験・考 察		8	自由研究	・自分で課題を設定し研究する。		自由研究
生命の連続性			(授業の進度による)			発表内容
		9	単元 2	・細胞の観察をし、観察力をつける。	観察	
生物の成長とふえ方 2章遺伝の規則性と遺伝子 終章遺伝子技術について調べよう ・生物のふえ方を細胞で考える。 ・遺伝の規則性を学ぶ。 継続観察 2学期 10 単元 3 自然界のつり合い 1章生物同士のつながり 2章自然界を循環する物質 ・生物どうしのつながりを考え、生物界 全体をひとまとまりとして見る視点を身につける。 考察 10 単元 4 化学変化とイオン ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 ・原子とイオンの構造を学ぶ。 実験・考 察			生命の連続性	・生物が成長することと細胞との関係に		
2 章遺伝の規則性と遺伝子 終章遺伝子技術について調べよう ・遺伝の規則性を学ぶ。 継続観察 2 学 期 10 単元 3 自然界のつり合い 1章生物同士のつながり 2章自然界を循環する物質 ・生物どうしのつながりを考え、生物界 全体をひとまとまりとして見る視点を身につける。 考察 10 単元 4 化学変化とイオン ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 ・原子とイオンの構造を学ぶ。 実験・考 察			1章	ついて観察を通し学ぶ。		
2 終章遺伝子技術について調べよう ・太陽の観測(秋分) 学			生物の成長とふえ方	・生物のふえ方を細胞で考える。		
2 ・太陽の観測 (秋分) 学期 10 単元3 ・生物どうしのつながりを考え、生物界 全体をひとまとまりとして見る視点を身につける。 考察 1章生物同士のつながり 2章自然界を循環する物質 た色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 化学変化とイオン 実験・考 察 定期テスト			2 章遺伝の規則性と遺伝子	・遺伝の規則性を学ぶ。		
学期 10 単元3 自然界のつり合い 1章生物同士のつながり 2章自然界を循環する物質 ・生物どうしのつながりを考え、生物界 全体をひとまとまりとして見る視点を身 につける。 考察 10 単元4 化学変化とイオン ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 ・原子とイオンの構造を学ぶ。 実験・考 察			終章遺伝子技術について調べよう		継続観察	
期 自然界のつり合い 1章生物同士のつながり 2章自然界を循環す る物質 全体をひとまとまりとして見る視点を身 につける。 考察 10 単元4 化学変化とイオン ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 ・原子とイオンの構造を学ぶ。 実験・考 察	2			・太陽の観測(秋分)		
1章生物同士のつながり 2章自然界を循環する物質 につける。 考察 10 単元4 化学変化とイオン ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 ・原子とイオンの構造を学ぶ。 実験・考 察	学	10	単元3	・生物どうしのつながりを考え、生物界		
2章自然界を循環する物質 ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 実験・考 10 単元4 ・原子とイオンの構造を学ぶ。 変	期		自然界のつり合い	全体をひとまとまりとして見る視点を身		
3物質 ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 実験・考し、 10単元4 ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 実験・考定期テスト			1 章生物同士のつながり	につける。	考察	
3物質 ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 実験・考し、 10単元4 ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 実験・考定期テスト			2章自然界を循環す			
10 単元 4 ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 実験・考 化学変化とイオン ・原子とイオンの構造を学ぶ。 察 定期テスト			る物質			
化学変化とイオン ・原子とイオンの構造を学ぶ。 察 定期テスト		10		色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。	実験・考	
			, -			定期テスト
- エ 十 / NTG IA C A V V A V V C / / C K A C A V C B A V IC B			1章水溶液とイオン	・イオンのモデルを使ってイオンに関		
2章 化学変化と する現象を考察する。				する現象を考察する。		
11 電池 ・化学電池の仕組みについて学ぶ。		11		・化学電池の仕組みについて学ぶ。		

					1
			・酸性、アルカリ性の現象をイオンの		
		とイオン	モデルを使って考える。		
		終章 中和をイオン	・中和の現象をイオンのモデルを使っ		定期テスト
		で考える	て考える。		
	12	単元 5	・継続観察の結果を使い、学習を進め		
		地球と宇宙	る。太陽の観測(冬至)	継続観察	
		1章 天体の1日の動き	・地球の自転や公転と太陽の動きや季節		
			の変化とを関連づけて考える。		
		2 章 天体の1年の動き	・地球の自転や公転と星の動きを関連づ		
3	1		けて考える。北の星、南の星の観察	継続観察	
学		3 章 月と惑星の運動	・太陽、月の性質を知り月の見え方を考		
期			える。		
		4章 太陽系と銀河系	・太陽系や宇宙のつくりを知り、金星の		
			見え方を考える。		
		終章 太陽の位置から方角を	・太陽や月の見え方で、方角や日にち		
		知る。	を知る方法を考える。		定期テスト
	2	単元6 地球の明るい未来の	・現在の自然環境を知り、人間と自然と		
		ために-自然と人間と科学技術-	の共存について考える。		
		1章 自然環境と人間のかかわり	・科学技術の発達と自然環境の調和につ		
		2 章くらしを支える科学技術	いて、自分の考えをまとめる。		
		3章 たいせつなエネルギー資源	・エネルギー資源の現状を知り、人間と		
			地球のかかわりを考える。		
	3	終章 これからの暮	・環境問題解決を目指した今後の生活		
		らしを考えよう	を考える。		

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
自然事象	自然事象に進んで関わり、問題を	定期テストの関心の問題
への関心・	見出し意欲的に学習する。	家庭学習ノート、ワーク提出
意欲・態度		自由研究(授業の進度による)
	実験観察結果から結論を考察でき	定期テストの思考の問題
科学的な	る。	☆授業ワークシートでの考察
思考・表現	自然事象を論理的に説明すること	☆授業での発言に見られる考察
	ができる。	自由研究(授業の進度による)
観察・実験	観察実験技能を習得している。	定期テストの技能の問題
0	現象を正しくとらえて記録するこ	☆授業ワークシートでの観察記録
技能	とができる。	
自然事象	自然現象についての概念や性質を	定期テストの知識の問題
についての	理解している。	小テスト
知識•理解		

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として4つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	1 2 点
4	10~11点
3	7~9点
2	5~6点
1	4 点